

エコ・カレンダー 2008年3～5月分の診断結果をお届けします。

今回のポイントは8月1日のお届け明細で付与いたします。ご確認ください。

エコチェックシートの見方

あなたの電気・ガス・水道のCO₂排出量
3～5月分のCO₂排出量です。

みんなの電気・ガス・水道のCO₂排出量

エコ・カレンダーを提出された方全員の平均CO₂排出量です。



リユース・リサイクルCO₂排出削減効果

リユースびん・紙パックなどをバルシステムに返却することで、資源が有効活用されます。ゴミとして捨ててしまうより、どれだけCO₂の量を減らすことができたかを表しています。

今期のエコライフ・チェックレーダー

エコ・カレンダーの「あなたのエコライフチェック3～5月分」を4つに分類し、回答を100点満点でグラフ化してあります。このグラフが大きな四角形に近づくほど「エコな暮らし」と言えるのではないのでしょうか。

エコカレンダー参加者の平均数値

使用量(=CO₂発生量)は対前年比 電気は1.9%増、都市ガスは0.4%減

使用量	電気			都市ガス			LPガス			水道		
	3月	4月	5月	3月	4月	5月	3月	4月	5月	3月	4月	5月
本年	382.1	340.8	321.4	55.0	45.1	39.0	17.9	16.0	13.7	34.4	37.3	36.8
前年	367.7	335.2	321.8	53.9	46.7	39.4	15.9	14.9	13.0	33.8	36.2	36.0

都市ガスは前年より減少しましたがその他は増加しています。08年3月は平年との差がプラス1.83と記録的に暖かい状況でした。3カ月間の対前年比1世帯当りのCO₂排出量は30.1kg-CO₂増となっています。

全国平均との比較では電気使用料・都市ガスとも使用料は下回っています 単位：円

	電気使用料の比較			都市ガス使用料の比較		
	08年3月	08年4月	08年5月	08年3月	08年4月	08年5月
パル	8,376	7,776	7,361	7,851	6,867	7,450
全国	10,913	9,278	8,248	8,917	7,974	7,130
差	-2,537	-1,502	887	-1,066	-1,107	320

全国平均のデータは総務省統計局 家計調査(人口5万人以上の市の勤労者世帯のもの)

「エコ・カレンダー2008」にご参加ください

2007年度のエコ・カレンダーは、今回のエコライフ・チェックシートで終了となります。ご協力いただき、ありがとうございました。グラフで見る1年間の省エネ度はいかがでしたか?ご家庭のCO₂排出削減・節約のお役に立てれば幸いです。

現在、「エコ・カレンダー2008」に取り組みされている方も多いと思います。引き続き省エネでお得な暮らしを実行しましょう。

問1:人間が地上に出現してから、何回もの氷河期と温暖期を経験したとされます。今日の温暖化は、こうした過去の気候変動と比べてどの程度のものなのでしょうか? 正解率87%

- ・過去の気候変動と比べて穏やかなもの 人類がはじめて経験する急激なもの
- ・過去の気候変動と同じようなもの ・昔のデータがないのでわからない

地球の歴史は46億年といわれています。人間が地上に出現したのは250万年前です。この間に何回もの氷河期と間氷期が繰り返され、地球の生態系は変化してきました。人類も気候変動に伴い、居住地域を移動して来ました。21世紀の地球全体の平均気温の上昇は100年間で約1～3.5と予測されています。これは過去1万年の間にはない平均気温の上昇で、これまでに人類が経験したことのない急激な気温の変動です。

問2:最近になって、地球環境の問題が深刻になってきたのはなぜでしょうか? 正解率77%

- ・巨大隕石が落下したから 人間の活動の規模が大きくなったから
- ・火山活動が活発になったから ・太陽の日射量が変化したから

人類の活動規模の拡大が原因となり、様々な地球環境問題が発生しています。地球環境問題は複雑で、一つの国にとどまらない地域に影響する問題です。地球が年々暖かくなっていく温暖化問題、樹木が枯れたり、湖の水質が変わってしまう酸性雨の問題もあります。太陽の紫外線から私たちの命を守るオゾン層が破壊される問題もあります。私たちが捨てる物質が原因で起こる海洋の汚染の問題もあります。

問3:地球温暖化は「子孫の時代」にその影響が懸念されるものですが、どのようなことが考えられるのでしょうか?

正解率96%

- ・平均気温が上昇し、マリンスポーツが盛んになる
- ・クーラーが大型化し、現在より快適な生活が楽しめる
- ・平均気温が上昇して海面上昇、異常気象、生態系破壊が起こる
- ・輸送機関が温暖化について行けず、通勤者が減り自宅就業が進む

地球温暖化は「子孫の時代」にその悪影響が懸念されるものであり、今すぐ深刻な影響が出るというものではありません。百年後に結果がはっきりする性質のもので、例えば、平均気温の上昇自体は、それだけで人類の生活を脅かすレベルではなく、その結果として起こる海面上昇、異常気象、生態系破壊などの大きな影響の引き金になることが重要なのです。

問4:1リットルのガソリンで10km走る一般の乗用車の場合、10回の空吹かしで無駄になるガソリンで、どのくらいの距離を走ることができるでしょうか? 正解率29%

- ・約6m
- ・約30m
- ・約60m
- ・約300m

お詫び:正解は「60m」ではなく「600m」です。確認が不十分で申し訳ございませんでした。

エンジン始動直後や、エンジン停止の直前に「空吹かし」をする人がいます。昔の自動車はエンジンなどの加工・組みつけ精度が低かったので機械によく潤滑油を回したりするために空吹かしをすることもありましたが、今日では全く無意味です。アクセルを踏み込むと大量の燃料が消費され、10回の空吹かしで、乗用車ではガソリン約60ミリリットル、大型トラックでは軽油約100～170ミリリットルが全く無駄に排ガスになります。

問5:大気圏に滞留して環境に悪い影響を及ぼす物質がありますが、なぜこういう物質が存在するのでしょうか?

正解率77%

- ・海水の蒸発の際に溶解している物質が共に空中に放出されるから
- ・人間が分解されにくい物質を製造し、又は発生させ、大気中に出すから
- ・火山の噴火の際に噴煙に混じって放出されるから
- ・水害などの災害で崩壊した岩石などの中から放出されるから

地球の大気は、対流圏で12kmほど、海洋の深さも最大で10kmほどしかありません。この薄い層の中が人の活動で汚され、好ましくない影響が出始めました。日光や微生物など自然界の働きでは分解されにくい物がつくられ、それが環境の中にとまり、環境に悪い影響を及ぼしています。そのうえ機械や技術が進歩し、海を埋め立てたり、森林を根こそぎつぶしてしまうことができるようになり、環境に好ましくない影響を与えています